延長事由認定申告書

※必ず、裏面の留意事項を確認し記載してください。

組合員等記号・番号	公立阪									組合員氏名		
1 育児休業の対象となる子について、右の①②を記載してください。										①子の氏名		
										②子の生年月日	令和	年
2 今回、延長を申請する期間について、右のア・イのうち、該当するものを選択してください。										☐ ア 1歳時点(注1)を含む期間		
										☐ イ 1歳6か月時点を含む期間		
3 ①保育所の利用(入所)申込について、保育所等における保育の利用を希望し、市区町村に利用(入所)申込をしましたか。												
☐ ア はい												
以下②~⑧についても選択又は記載してください。												
理由を記載してください。	☐ イ いいえ	②利用(入所)申込をした日(注2)	令和	年	月	日						
		③利用(入所)開始希望日(注3)	令和	年	月	日						
		④利用(入所)申込に当たり、入所保留を積極的に希望する旨の意思表示をしていませんか。	☐ ア していない	☐ イ している(イの場合は支給対象外)								
		⑤利用(入所)保留の有効期限	令和	年	月	日						
		⑥利用(入所)内定を辞退したことがありますか。	☐ ア 辞退したことはない	☐ イ 辞退したことがある								
		⑦利用(入所)申込をした保育所等の中で、自宅から最も近隣の施設名と通所時間(片道)	施設名 :									
			通所方法 :									
			通所時間(片道) :	分								
⑧申込をしたすべての保育所等の通所時間(片道)が30分以上の場合、その理由を次から選択してください。												
☐ ア 申し込んだ保育所等が本人又は配偶者の通勤の途中で利用できる場所にあるため												
☐ イ 自宅から30分未満で通える保育所等が存在しないため												
☐ ウ 自宅から30分未満で通える保育所等では職場復帰後の勤務時間・勤務日に対応できないため												
☐ エ 兄弟姉妹と同じ保育所等の利用(入所)を希望するため(添付書類については裏面参照)												
☐ オ その他(添付書類については裏面参照)												
理由を記載してください。												
理由欄												

理由を記載してください。

(注1) パパ・ママ育休プラスによる延長措置が適用される場合は、それにより延長された支給期間の終了日の翌日。

(注2) 利用(入所)申込をした日が1歳の誕生日(または1歳6か月を迎える日)以降の場合、支給対象外。

(注3) 利用(入所)開始希望日が1歳の誕生日(または1歳6か月を迎える日)の翌日以降の場合、支給対象外。

育児休業手当金の支給対象期間の延長事由について、上記のとおり申告します。

公立学校共済組合大阪支部長 様

郵便番号

令和 年 月 日

住所

請求者

氏名

記載にあたっての留意事項

- I この申告書は、必ず組合員本人が事実について正しく記載してください。申告しなければならぬ事柄を申告しなかったり、偽りの記載をして提出した場合には、以降育児休業手当金を受けることができなくなるばかりでなく、不正に受給した金額の返還を命ぜられることがあります。
- II 保育所等での保育が開始されないことを理由とした育児休業手当金の支給対象期間延長は、速やかな職場復帰を図るために保育所等の利用(入所)申込をしたが入所ができないなど、やむを得ず職場復帰ができない方を対象とした制度です。制度の趣旨に沿った延長の申請であることを確認するため、育児休業手当金支給対象期間延長事由認定申告書(この申告書)を育児休業手当金(1歳超分)請求書に添付してください。
- III 3の①欄について、申込をしていない場合は、原則として延長の要件を満たしません。
- IV 3の②欄について、申込をした日が子の1歳の誕生日(注)(又は1歳6か月を迎える日)以降の場合は、原則として延長の要件を満たしません。
- V 3の③欄について、利用(入所)開始希望日が子の1歳の誕生日(注)(又は1歳6か月を迎える日)の翌日以降の場合は、原則として延長の要件を満たしません。
- VI 3の④欄について、申込において「保育所等への入所を希望していない」、「育児休業からの職場復帰の意思がない」、「育児休業の延長を希望する」、「入所保留となることを希望する」など、職場復帰や保育所等への入所の意思がないことを明示的に記載・選択しているときは「している」に該当します。
なお、「している」に該当する場合は、延長の要件を満たしません。
- VII 3の⑤欄について、入所保留通知書、入所不承諾通知書などに記載された有効期間を記載してください。入所保留通知書、入所不承諾通知書などに有効期間の記載がない場合は空欄で構いません。
- VIII 3の⑥欄について、1に記載した子について、これまでに内定を辞退している場合は、原則として延長の要件を満たしません。
ただし、内定後の住所変更など、内定した保育所等に子を入所させることが困難な事情の変更が生じた場合には、延長が認められる場合がありますので、理由欄に変更前の住所や変更前後の勤務場所、事情変更の生じた日付及び具体的な理由を記載してください。
- IX 3の⑦欄について、通所方法は通所する場合に利用する予定だった交通手段(徒歩・自転車・自動車・バス等)を記載し、その交通手段による自宅からの片道の所要時間を記載してください。
なお、送迎サービス等を利用する場合は送迎場所までの片道の所要時間を記載してください。
- X 3の⑧欄について、利用(入所)希望の保育所等が、合理的な理由なく通所に自宅から片道30分以上要する保育所等のみとなっている場合は、原則として延長の要件を満たしません。
エまたはオを選択した場合は、次の書類を育児休業手当金(1歳超分)請求書に添付してください。
- ・ エを選択した場合：**兄弟姉妹の在籍証明書等**
  - ・ オを選択した場合：理由欄に具体的な理由を記載のうえ、**記載内容を確認できる書類**

(記載内容を確認できる書類の例)

- 1 子に特別の配慮が必要であり、自宅から30分未満で通える保育所等では対応できない場合：**医師の診断書や障害者手帳の写しなど、特別な配慮が必要であることを確認できる書類**
- 2 自宅から30分未満で通える保育所等が、いずれも過去3年以内に、児童への虐待等について都道府県又は市区町村から行政指導等を受けていた場合：**当該保育所等が行政指導等を受けた事実に関する公表資料等**

(注) パパ・ママ育休プラスによる延長措置が適用される場合は、それにより延長された支給期間の終了日の翌日。